

様式第1号（第7条関係）

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和2年 12月 24日

和泉市長 あて

団体名 まちセミ・IZUMI 実行委員会

代表者名 新田 良子

所在地

電話

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	まちセミ・IZUMI 2021
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース ■ ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	300,000 円 (うち、対象経費 300,000 円)
支援金 交付申請額	150,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい) ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第7条関係）

団体概要調書

フリガナ	マチセミイズミジッコウインカイ		
団体名	まちセミ・IZUMI 実行委員会		
団体の目的	「誰でも先生」「誰でも生徒」という、老若男女が集い笑顔あふれる新しい形の学びの場を作る。「ひとりの学び」が「みんなの学び」に。そして、「まちの学び」につながり、和泉市がステキなまちになることを目的とする。		
市内事務所の所在地			
	電 話		FAX
フリガナ	ニッタヨシコ		
代表者氏名	新田良子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※		電 話
	ニッタヨシコ		
	新田良子		FAX
(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設 立 年 月	2019年8月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 (回発行) ・ <input checked="" type="radio"/> 無	会員数	15人
メールアドレス			
ホームページ	http:// machisemii.com		
主な事業内容	まちセミ・IZUMI の開催		
主な活動の実績	プレまちセミ・IZUMI (2019年12月14日開催) まちセミ・IZUMI 2020 (2020年11月23日ZOOMのみ開催)		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)
	R2	ちよいず	97,396円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	まちセミ・IZUMI 2021
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース ■ ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 本来「学び」は楽しいものだったはずなので、主体的な学びを取り戻し、老若男女が集い、笑顔あふれる新しい形の学びの場を和泉市でも作る必要がある。	
②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 和泉市では、「シティプラザ」や「コミセン」などたくさんの「学びの場」があり、そこでたくさんの方が学ばれています。まちセミ・IZUMI は「ひとりの学び」が「まちの学び」につながるきっかけをつくることで、和泉市をステキな「まち」にしたい。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 「誰でも先生」「誰でも生徒」という、老若男女が集い笑顔あふれる新しい形の学びの場を作る。具体的には、北池田中学校の特別教室をお借りして、対面授業を約30 講座、和泉シティプラザ学習室をお借りして、リモート授業約 20 講座を開催する。	
②実施期間（日時）	2021年11月3日（祝・水）
③実施場所	和泉市立北池田中学校、和泉シティプラザ
④主な対象者	和泉市民
⑤参加予定者数	先生 50 人、 生徒約 500 人（のべ人数）
⑥告知方法	チラシとHPやFacebook など

5 事業スケジュール	
次期(月)	内容
1月から	実施までに、毎月1回程度実行委員会を開催する。
7月	先生・ボランティア募集、チラシ作成・配布
8月	先生説明会・プログラム作成
9月	プログラム配布
10月	ボランティア説明会
11月	まちセミ・IZUMI 2021 開催
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
① 公益性	「誰でも先生」「誰でも生徒」という、老若男女が集い笑顔あふれる新しい形の学びの場を作ることは、幅広い市民が参加できるイベントであるので、市民の共感はもちろん、不特定の市民の利益につながると考えられる。1人1人の学びが「まちの学び」につながるきっかけをつくることで、まちづくりに活かしたいと考えている。
② 継続性	2019年にイベントを開催し、2020年は実施間際に、コロナウイルスの影響で対面での授業を中止したが、ZOOMでの授業は実施し、継続性は保つことができた。イベントにご参加いただいた市長からは「拝聴していて和泉市の市民パワーの可能性に心躍る思いがいたしました」との感想をいただき、事業の成果として、市民パワーを感じてもらえる事業であったと言える。 1人1人の学びが「まちの学び」につながるきっかけをつくることで、和泉市のまちづくりにも効果が波及していくと考えている 財源確保としては、広告協賛を募って財源確保に努めているが、クラウドファンディングなども行い、ファンを増やすとともに、財源確保にも努めたい。
③ 実行性	事業計画や予算については、2年間の経験を活かして、立案している。実行委員会は毎月開催し、実行に向けて検討を重ねている。団体の構成員は、和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」の市民活動を推進しているメンバーを中心に、和泉市民大学の卒業生が加わり組織しており、実践力に富んでいる。
④ 協働性	和泉市では、和泉シティプラザやコミュニティセンターなどの生涯学習施設で、多くの方々が学ばれている。その方たちをはじめ、和泉市民でユニークな才能・知識を持つ人たちを先生として授業をしていただき、自らの学びを広め合う場を作ることで、学ぶ楽しさや学びを分かち合う楽しさをたくさんの人に体験してもらい、学びを通して、多世代がつながるきっかけを作りたいと考えている。
⑤ 公開性	HPやFacebookなどのSNSも活用している。イベントの際

	<p>は、チラシ 8000 枚をいぶき野中学校区・北池田中学校区の児童生徒約 6000 人と、自治会、公共施設などに配布した実績があり、公開性があると言える。</p>
<p>⑥発展性 (先駆性・ 展開性)</p>	<p>愛知県や尼崎市などで実施されている、「サマーセミナー」を参考にしているが、和泉市では実施されておらず、まち全体を学びの場と考える発想は「まちセミ」独自のものである。</p> <p>青葉はつが野小学校では子どもを対象にして同じような取り組みがなされており、各地域での実施も可能なので、各地域での取り組みに発展してほしい。</p> <p>「まちセミ」も和泉中央地域だけでなく、他の地域での開催も視野に入れている。</p>

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号(第7条・第15条関係)

収支予算書

事業の名称: まちセミ・IZUMI 2021

1. 【収入】

(単位: 円)

項目	金額	積算根拠
支援金	150,000 円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入		
自主財源	150,000 円	広告協賛金 5 万円 クラウドファンディング 10 万円
合計	300,000 円	

2. 【支出】

(単位: 円)

費目	金額	積算根拠(数量、単価等)
消耗品費	45,000 円	文房具 20,000 円 のぼり作成費 25,000 円
印刷製本費	200,000 円	チラシ・プログラム等の印刷 60,000 円 パンフレットの印刷 120,000 円 看板作成費 20,000 円
役務費	23,000 円	ボランティア保険(行事保険) 30 円×500 人=15,000 円 郵便代 8,000 円
使用料	32,000 円	和泉シティプラザ学習室使用料 前日および当日
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合計	300,000 円	
対象経費	300,000 円	

※費目は、別表第3(第10条関係)に記載されているとおりに記載してください。
※備品費(対象経費)には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。